

令和7年度事業 進捗状況評価報告書

令和7年度事業計画に対する進捗評価の状況

(i) 進捗評価の集計結果

「進捗評価シート」を用いて評価を行った事業評価の集計結果は下記のとおりです。

将来像	施策		重点施策	施策進捗度	事業進捗度			
	No.	名称			◎	○	△	×
水道システムの最適化	1-1	水質の監視・管理の徹底と強化	—	A	0	4	0	0
	1-2	仙台の水道水のPR	—	A	0	2	0	0
	2-1	管路更新のペースアップ	★	A	0	1	0	0
	2-2	施設・管路の計画的な耐震化	—	A	0	1	1	0
	3-1	災害時給水栓による応急給水体制の強化	—	S	1	0	0	0
	3-2	様々な取組を通じた早期応急復旧体制の強化	—	A	0	2	1	0
	4-1	浄水場の再構築	★	A	0	2	1	0
	4-2	配水所等の再構築	—	B	0	1	2	0
	4-3	管路更新時における管口径等の適正化	—	A	0	1	0	0
持続可能な経営	5-1	ライフサイクルコスト縮減への取組	—	S	1	1	0	0
	6-1	水道料金等の在り方検討	★	B	0	0	1	0
	7-1	DX推進による業務の効率化・お客さまサービスの向上	—	A	0	2	0	0
	8-1	キャリアを意識した計画的な人材育成	—	A	0	3	0	0
	8-2	人材育成環境の強化・充実	—	A	1	3	0	0
関係者との連携強化	9-1	お客さまとのコミュニケーションの推進	—	A	0	2	0	0
	9-2	アンケート等によるお客さまニーズ等の把握	—	A	0	2	0	0
	10-1	関係者と連携した災害対応の充実	★	A	0	2	0	0
	10-2	災害経験の発信	—	A	0	2	0	0
	11-1	近隣水道事業体との連携推進	—	A	0	1	0	0
	12-1	民間活力を活用した最適な事業手法の検討	—	A	0	1	0	0
	12-2	民間事業者・仙台市水道サービス公社の人材確保・技術力の維持向上	—	B	0	1	0	1

集計結果	実績報告における集計結果 21の施策に係る32の事業について、44の指標を用いて進捗状況を整理した結果を集計しています。	事業評価 集計結果				
		取組項目計	◎	○	△	×
		44項目 (うち重点施策)	3 (0)	34 (5)	6 (2)	1 (0)
		割合	6.8%	77.3%	13.6%	2.3%

(ii) 将来像ごとの施策進捗度

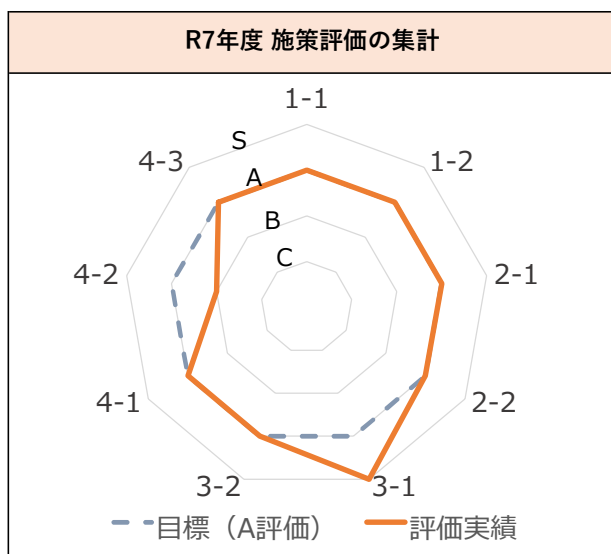
【将来像1】 水道システムの最適化

I. 施策別評価結果

※進捗評価シートより転載

施策の基本的方向性 1 お客さまが実感できる良好な水道水質の実現		評価範囲	R7	R8	R9	R10	R11
施策 1-1	水質の監視・管理の徹底と強化	A ~ C	A				
施策 1-2	仙台の水道水のPR	A ~ C	A				
施策の基本的方向性 2 災害に強い施設・システムづくりの推進		評価範囲	R7	R8	R9	R10	R11
施策 2-1	管路更新のペースアップ	S ~ C	A				
施策 2-2	施設・管路の計画的な耐震化	S ~ C	A				
施策の基本的方向性 3 被災時にも給水が継続できる体制の強化		評価範囲	R7	R8	R9	R10	R11
施策 3-1	災害時給水栓による応急給水体制の強化	S ~ C	S				
施策 3-2	様々な取組を通じた早期応急復旧体制の強化	S ~ C	A				
施策の基本的方向性 4 水需要に合わせた施設の再構築		評価範囲	R7	R8	R9	R10	R11
施策 4-1	浄水場の再構築	S ~ C	A				
施策 4-2	配水所等の再構築	S ~ C	B				
施策 4-3	管路更新時における管口径等の適正化	A ~ C	A				

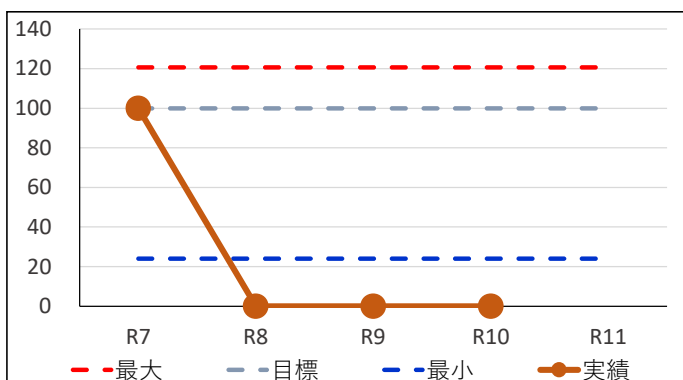
II. R7 年度評価



R7年度 スコア集計				
施策	重点 施策	スコア 範囲	目標 スコア	実績 スコア
1-1	—	3 ~ 1	3	3
1-2	—	3 ~ 1	3	3
2-1	★	5 ~ 0	4	4
2-2	—	4 ~ 1	3	3
3-1	—	4 ~ 1	3	4
3-2	—	4 ~ 1	3	3
4-1	★	5 ~ 0	4	4
4-2	—	4 ~ 1	3	2
4-3	—	3 ~ 1	3	3
計		35 ~ 7	29	29

目標達成率 (実績スコア/目標スコア)	100.00 %
------------------------	----------

III. 目標達成率 推移



IV. 総評

令和7年度の評価については、4-2（配水所等の再構築）の事業がB判定となりましたが、目標達成率は100.00%となり、概ね順調に事業が進んでいます。

令和8年度以降も、各施策を通じた水道システムの最適化を着実に進め、将来にわたって安全で良質な水道水を供給していけるよう取り組んでいきます。

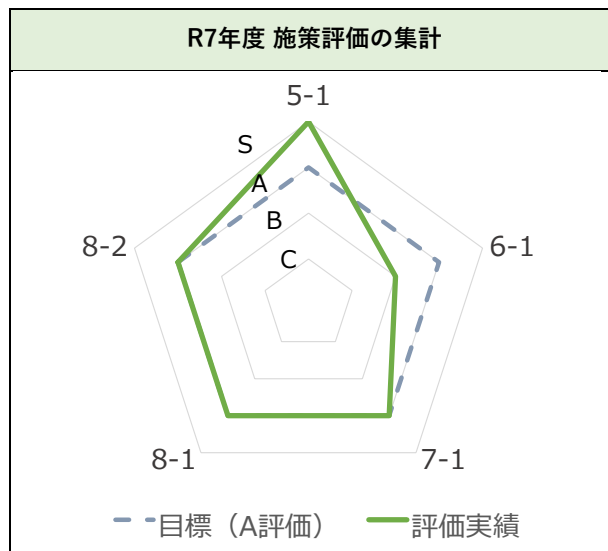
【将来像2】 持続可能な経営

I. 施策別評価結果

※進捗評価シートより転載

施策の基本的方向性	5	評価範囲	R7	R8	R9	R10	R11
アセットマネジメントによるライフサイクルコストの縮減							
施策	5-1	ライフサイクルコスト縮減への取組	S ~ C	S			
施策の基本的方向性	6	評価範囲	R7	R8	R9	R10	R11
将来の更新財源確保に向けた水道料金等の在り方検討							
施策	6-1	水道料金等の在り方検討	S ~ C	B			
施策の基本的方向性	7	評価範囲	R7	R8	R9	R10	R11
新技術導入等による業務の効率化・お客さまサービス向上							
施策	7-1	DX推進による業務の効率化・お客さまサービスの向上	S ~ C	A			
施策の基本的方向性	8	評価範囲	R7	R8	R9	R10	R11
水道事業を支える人材の確保・育成及び組織体制の強化							
施策	8-1	キャリアを意識した計画的な人材育成	A ~ C	A			
施策	8-2	人材育成環境の強化・充実	S ~ C	A			

II. R7 年度評価

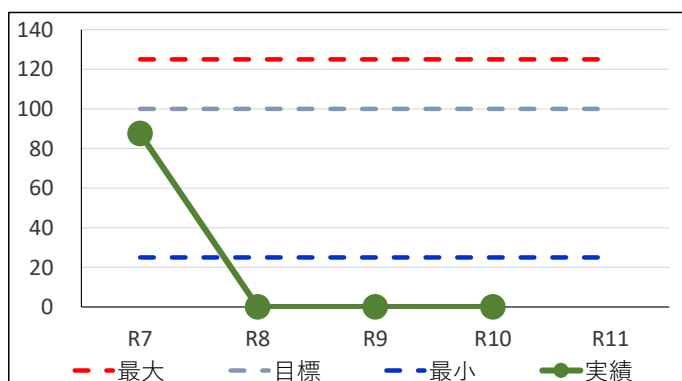


R7年度 スコア集計

施策	重点 施策	スコア 範囲	目標 スコア	実績 スコア
5-1	—	4 ~ 1	3	4
6-1	★	5 ~ 0	4	1
7-1	—	4 ~ 1	3	3
8-1	—	3 ~ 1	3	3
8-2	—	4 ~ 1	3	3
計		20 ~ 4	16	14

目標達成率 (実績スコア / 目標スコア)	87.50 %
--------------------------	---------

III. 目標達成率 推移



IV. 総評

令和7年度の評価については、概ね順調に取組が進んでいますが、重点施策である6-1（水道料金等の在り方検討）がB判定となり、目標達成率は87.50%となりました。令和8年度以降も、水道料金等の在り方検討を含む各施策を通じた経営基盤の強化を進め、将来にわたって安定的に事業を継続していけるよう取り組んでいきます。

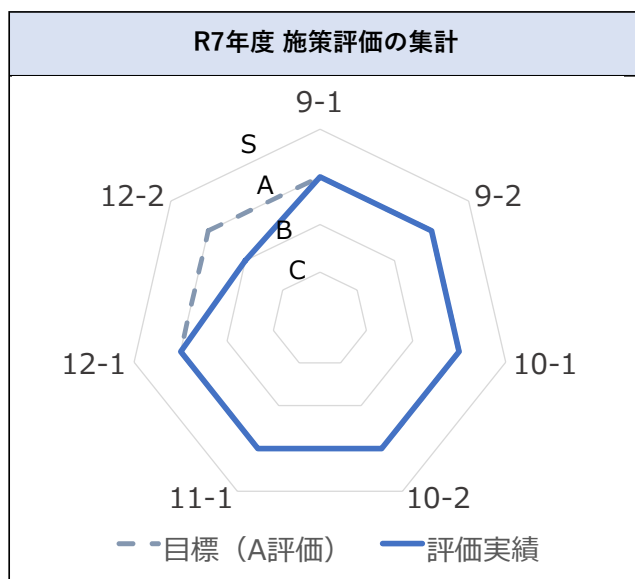
【将来像3】 関係者との連携強化

I. 施策別評価結果

※進捗評価シートより転載

施策の基本的方向性 9			評価範囲	R7	R8	R9	R10	R11
お客さまとの双方向コミュニケーション充実による開かれた経営の実現								
施策 9 - 1	お客さまとのコミュニケーションの推進		A ~ C	A				
施策 9 - 2	アンケート等によるお客さまニーズ等の把握		A ~ C	A				
施策の基本的方向性 10			評価範囲	R7	R8	R9	R10	R11
災害対応における地域・他の水道事業者・民間事業者との連携強化								
施策 10 - 1	関係者と連携した災害対応の充実		S ~ C	A				
施策 10 - 2	災害経験の発信		A ~ C	A				
施策の基本的方向性 11			評価範囲	R7	R8	R9	R10	R11
本市の技術力・ノウハウ・ネットワークを活かした近隣水道事業者との連携強化								
施策 11 - 1	近隣水道事業者との連携推進		A ~ C	A				
施策の基本的方向性 12			評価範囲	R7	R8	R9	R10	R11
民間事業者・仙台市水道サービス公社との更なる協働								
施策 12 - 1	民間活力を活用した最適な事業手法の検討		A ~ C	A				
施策 12 - 2	民間事業者・仙台市水道サービス公社の人材確保・技術力の維持向上		A ~ C	B				

II. R7 年度評価

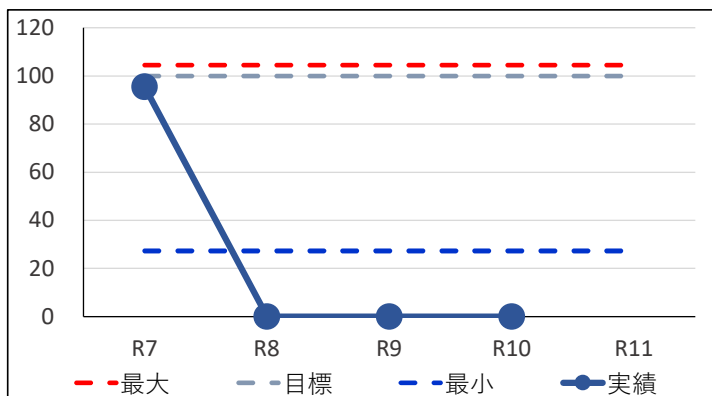


R7年度 スコア集計

施策	重点 施策	スコア 範囲	目標 スコア	実績 スコア
9-1	—	3 ~ 1	3	3
9-2	—	3 ~ 1	3	3
10-1	★	5 ~ 0	4	4
10-2	—	3 ~ 1	3	3
11-1	—	3 ~ 1	3	3
12-1	—	3 ~ 1	3	3
12-2	—	3 ~ 1	3	2
計		23 ~ 6	22	21

目標達成率 (実績スコア/目標スコア)	95.45 %
------------------------	---------

III. 目標達成率 推移



IV. 総評

令和7年度の評価については、概ね順調に取り組が進んでいますが、12-2（民間事業者・仙台市水道サービス公社の人材確保・技術力の維持向上）の事業がB判定となり、目標達成率は95.45%となりました。

令和8年度以降も、各施策の着実な推進に取り組みながら、お客さまや関係者の皆さまとともに、将来にわたって安定した事業運営を実現していけるよう取り組んでいきます。

(iii) 重点施策の進捗状況一覧

中期経営計画における重点施策の事業進捗度は下記のとおりです。

頁	No.	指標	判定
	2-1	管路更新のペースアップ	
P13	(1)-1	管路更新延長	○
	4-1	浄水場の再構築	
P22	(1)-1	共同浄水場整備	△
P22	(2)-1	茂庭浄水場長寿命化についての進捗	○
P23	(3)-1	熊ヶ根浄水場廃止についての進捗	○
	6-1	水道料金等の在り方検討	
P31	(1)-1	水道料金等の在り方検討の進捗	△
	10-1	関係者と連携した災害対応の充実	
P45	(1)-1	災害時給水栓等の訓練実施率	○
P45	(2)-1	災害対応訓練実施	○

(iv) ◎判定 事業一覧

21の施策の内、3つの施策に含まれる計3つの事業で、目標を上回る見込みです。

頁	No.	指標	判定
	3-1	災害時給水栓による応急給水体制の強化	
P17	(1)-1	災害時給水栓訓練実施箇所数	◎
	5-1	ライフサイクルコスト縮減への取組	
P29	(1)-2	次期基本計画期間中の投資水準の算出	◎
	8-2	人材育成環境の強化・充実	
P39	(3)-1	ナレッジデータベースの局内認知度	◎

(v) △・×判定 事業一覧

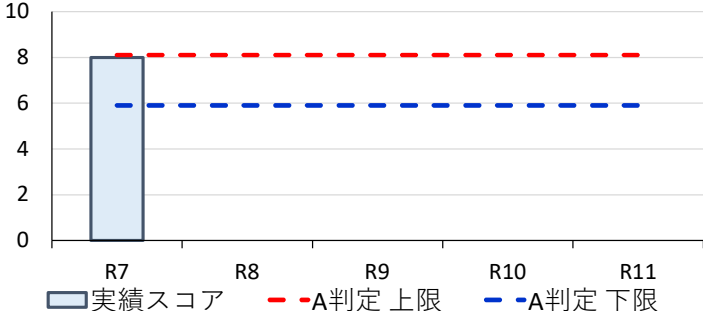
21の施策の内、6つの施策に含まれる計7つの事業で、遅延や目標未達が発生しました。

頁	No.	指標	判定
	2-2	施設・管路の計画的な耐震化	
P15	(1)-1	施設の耐震化についての進捗	△
	3-2	様々な取組を通じた早期応急復旧体制の強化	
P20	(3)-1	非常用自家発電設備更新件数	△
	4-1	浄水場の再構築	
P22	(1)-1	共同浄水場整備（重点施策・再掲）	△
	4-2	配水所等の再構築	
P25	(1)-1	統廃合に向けた施設整備	△
P25	(2)-1	加茂配水所撤去	△
	6-1	水道料金等の在り方検討	
P31	(1)-1	水道料金等の在り方検討の進捗（重点施策・再掲）	△
	12-2	民間事業者・仙台市水道サービス公社の人材確保・技術力の維持向上	
P53	(1)-1	高等技術専門校に対する講習会	×

施策の基本的方向性	1 お客さまが実感できる良好な水道水質の実現
施策	1 水質の監視・管理の徹底と強化
とりまとめ	施設課
関連事業概要 (中期経営計画より)	(1) 水質の監視・管理の徹底と強化 [水質管理課] ●安全で良質な水道水を安定的にお客さまにお届けするため、国の水質基準を遵守するとともに、水道水の安全性を観点とした項目と、水道水の快適な利用に関する項目（快適性）について、より厳しく設定した本市独自の水質目標に基づき、水源水質の監視及び浄水場における適切な浄水処理を行います。 ●前期計画期間において、残留塩素濃度等に関連する本市独自の水質目標が達成されなかったことから、目標達成を目指し、より一層の管理を徹底していきます。 ●水質異常等の様々なリスクに迅速に対応できるようにするため、PDCAサイクルによる「水安全管理対応マニュアル」の運用・見直しを継続して行います。 ●近年、気候変動の影響による水質変化が発生しているほか、全国的にPFAS等の新たな水質課題が発生していることから、これらへ迅速に対応するため、水質検査・管理の能力向上を図ります。
	(2) 関係者との連携による水源保全 [営業課・施設課・国見浄水課] ●水源水質の維持向上のため、「杜の都の風土を守る土地利用調整条例」といった関連する法令等により、水源を汚染・汚濁する可能性のある開発行為等を抑制します。 ●青下水源地の水源涵養機能を維持するため、計画的に水源涵養林の保育管理を行うほか、民間事業者と連携した水源涵養林の保全活動を実施する「青下の杜プロジェクト」を継続し、プロジェクトの実施状況を積極的にPRしていきます。 ●水道水源の保全のため、各浄水場の水源であるダム等の清掃活動を関係者と連携・協働して実施していきます。

事業進捗度集計 (次ページ以降より)	指標No.	指 標	年度別 事業進捗度の判定結果【4段階判定（スコア）】				
			R7	R8	R9	R10	R11
	(1) -1	本市独自の水質目標達成率（安全性の指標）	○ (2)				
	(1) -2	本市独自の水質目標達成率（快適性の指標）	○ (2)				
	(2) -1	青下の杜プロジェクトの実施	○ (2)				
	(2) -2	青下ダムなどの清掃活動の実施	○ (2)				

施策進捗度	進捗度	下限	～	目標	～	上限	年度別 施策進捗度の判定結果【4段階判定（スコア計）】				
							R7	R8	R9	R10	R11
	判定域	C	～	A	～	A	A (8)				
	スコア計	0	～	8	～	8					
	施策進捗度 判定基準						上記 () 内に示す「スコア計」の値をXとして				
							S	(なし)			
							A	6	≦	X	≦ 8 (概ね目標通り)
							B	3	≦	X	< 6 (目標を下回った)
							C	0	≦	X	< 3 (目標を大きく下回った)

R7年度 施策評価 まとめ	R7年度までのスコア計推移		R7年度 施策進捗度
	 実績スコア A判定 上限 A判定 下限		A A ~ C
	R7年度 「施策1-1」 総評		
	全項目で目標を達成し、施策評価は「A判定」となった。 (1) -1: 【進捗度 ○】 安全性の指標は100%を達成した。 (1) -2: 【進捗度 ○】 快適性の指標は100%を達成した。 (2) -1: 【進捗度 ○】 「青下の杜フェスティバル2025」の開催に加え、森林保全活動（間伐や植樹）を9月～10月に実施した。また、協定期間満了となる協力企業9社と改めて協定を締結した。 (2) -2: 【進捗度 ○】 地元町内会と共催の青下ダム周辺清掃については直前での熊出没により急遽中止したが、宮城県主催の大倉ダム周辺清掃や泉区まちづくり推進協議会主催の七北田川クリーン運動に参加したことから、概ね目標どおりに行うことができた。		

事業管理 No.1	指標概要	指標No.	(1)-1 水質の監視・管理の徹底と強化				
		指標 [単位]	本市独自の水質目標達成率（安全性の指標） [%]				
		指標算出方法	指標A [%] = 安全性に関する水質目標項目の目標達成率『（定期検査における水質目標達成回数／定期検査における検査回数）×100』の平均値				
		指標種別	2.数値形式(維持)				
	事前整理 事項	目標値 A' [%]	R7	R8	R9	R10	R11
			100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		進捗度 判定基準	実績値Aに関して、以下の通り判定を行う。				
			(なし)				
			○	98.0 ≤ A ≤ 100.0	(概ね目標通り)		
			△	95.0 ≤ A < 98.0	(目標を下回る)		
			×	0.0 ≤ A < 95.0	(目標を大きく下回る)		
進捗確認	実績入力	実績値 A [%]	R7	R8	R9	R10	R11
			100.0				
	目標値および 実績値の推移						
		--- 目標値 ● 実績値					
	進捗度 判定		R7	R8	R9	R10	R11
			○				

事業管理 No.2	指標概要	指標No.	(1)-2 水質の監視・管理の徹底と強化				
		指標 [単位]	本市独自の水質目標達成率（快適性の指標） [%]				
		指標算出方法	指標A [%] = 快適性に関する水質目標項目の目標達成率『（定期検査における水質目標達成回数／定期検査における検査回数）×100』の平均値				
		指標種別	2.数値形式(維持)				
	事前整理 事項	目標値 A' [%]	R7	R8	R9	R10	R11
			100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		進捗度 判定基準	実績値Aに関して、以下の通り判定を行う。				
			(なし)				
			○	98.0 ≤ A ≤ 100.0	(概ね目標通り)		
			△	95.0 ≤ A < 98.0	(目標を下回る)		
			×	0.0 ≤ A < 95.0	(目標を大きく下回る)		
進捗確認	実績入力	実績値 A [%]	R7	R8	R9	R10	R11
			100.0				
	目標値および 実績値の推移						
		--- 目標値 ● 実績値					
	進捗度 判定		R7	R8	R9	R10	R11
			○				

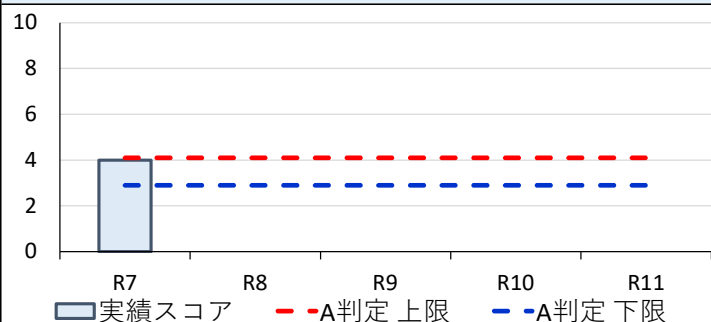
事業管理 No.3	指標概要	指標No.	(2)-1 関係者との連携による水源保全				
		指標 [単位]	青下の杜プロジェクトの実施 [-]				
		指標算出方法	指標A [－] = 「青下の杜プロジェクト」実施の有無				
		指標種別	4.実施有無形式				
	事前整理 事項	目標 [－]	R7	R8	R9	R10	R11
			実施	実施	実施	実施	実施
		進捗度 判定基準	指標に設定した行為等に対し、実施したかどうかで、以下の通り判定を行う。				
				(なし)			
			○	実 施 (概ね目標通り)			
			(なし)				
			×	未 実 施 (目標を大きく下回る)			
	進捗確認	実績 [－]	R7	R8	R9	R10	R11
進捗度 判定		実施					
		R7	R8	R9	R10	R11	
		○					

事業管理 No.4	指標概要	指標No.	(2)-2 関係者との連携による水源保全				
		指標 [単位]	青下ダムなどの清掃活動の実施 [-]				
		指標算出方法	指標A [－] = 青下ダムなどを対象とした清掃活動の実施の有無				
		指標種別	4.実施有無形式				
	事前整理 事項	目標 [－]	R7	R8	R9	R10	R11
			実施	実施	実施	実施	実施
		進捗度 判定基準	指標に設定した行為等に対し、実施したかどうかで、以下の通り判定を行う。				
				(なし)			
			○	実 施 (概ね目標通り)			
				(なし)			
			×	未 実 施 (目標を大きく下回る)			
	進捗確認	実績 [－]	R7	R8	R9	R10	R11
			実施				
		進捗度 判定	R7	R8	R9	R10	R11
			○				

施策の基本的方向性	1 お客さまが実感できる良好な水道水質の実現
施策	2 仙台の水道水のPR
とりまとめ	施設課
関連事業概要 (中期経営計画より)	(1) 水道水の安全性等の広報 [営業課・水質管理課] ●持続可能な事業運営の実現に向けて、お客さまに水の持つ様々な魅力を再認識いただけるよう、様々な広報媒体や水道フェア等のイベントを通して、仙台の水道水の更なるPRを行います。 ●仙台の水道水の安全性をお客さまに実感していただけるよう、引き続き、水質管理の取組や、水質検査結果等について情報発信を行います。

事業進捗度集計 (次ページ以降より)	指標No.	指 標	年度別 事業進捗度の判定結果【4段階判定（スコア）】				
			R7	R8	R9	R10	R11
	(1) -1	水道フェア等を通じた水道水のPR	○ (2)				
	(1) -2	水質検査結果等の公開	○ (2)				

施策進捗度	進捗度	下限	～	目標	～	上限	年度別 施策進捗度の判定結果【4段階判定（スコア計）】				
	判定域	C	～	A	～	A	R7	R8	R9	R10	R11
	スコア計	0	～	4	～	4	A (4)				
	施策進捗度 判定基準						上記 () 内に示す「スコア計」の値をXとして				
							S	(なし)			
							A	3	≦	X	≦ 4 (概ね目標通り)
							B	1	≦	X	< 3 (目標を下回った)
							C	0	≦	X	< 1 (目標を大きく下回った)

R7年度 施策評価 まとめ	R7年度までのスコア計推移		R7年度 施策進捗度																								
	 <table border="1"><caption>R7年度までのスコア計推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績スコア</th><th>A判定 上限</th><th>A判定 下限</th></tr></thead><tbody><tr><td>R7</td><td>4</td><td>4</td><td>3</td></tr><tr><td>R8</td><td>-</td><td>4</td><td>3</td></tr><tr><td>R9</td><td>-</td><td>4</td><td>3</td></tr><tr><td>R10</td><td>-</td><td>4</td><td>3</td></tr><tr><td>R11</td><td>-</td><td>4</td><td>3</td></tr></tbody></table>		年度	実績スコア	A判定 上限	A判定 下限	R7	4	4	3	R8	-	4	3	R9	-	4	3	R10	-	4	3	R11	-	4	3	A / A ~ C
	年度	実績スコア	A判定 上限	A判定 下限																							
	R7	4	4	3																							
	R8	-	4	3																							
R9	-	4	3																								
R10	-	4	3																								
R11	-	4	3																								
R7年度「施策1-2」総評																											
全項目で目標を達成し、施策評価は「A判定」となった。 (1) -1：【進捗度 ○】 8月に水道フェアを開催し、水道水を飲んでいただきながら、よりおいしく飲む方法を紹介した（令和6年度の来場者914名を上回る971名来場）。また、10月には建設局主催の下水道フェアへ参加し、水道水をよりおいしく飲む方法を紹介するコーナーを運営することで、水道水のPRに取り組んだ。 (1) -2：【進捗度 ○】 水道局ホームページへの掲載やXでの投稿により、水道水の安全性に関する広報を計画的に実施した。																											

事業管理 No.1	指標概要	指標No.	(1) -1 水道水の安全性等の広報					
		指標〔単位〕	水道フェア等を通した水道水のPR [-]					
		指標算出方法	指標A〔－〕＝水道フェア等を通した水道水のPRの実施の有無					
		指標種別	4.実施有無形式					
	事前整理 事項	目標〔－〕	R7	R8	R9	R10	R11	
			実施	実施	実施	実施	実施	
		進捗度 判定基準	指標に設定した行為等に対し、実施したかどうかで、以下の通り判定を行う。					
				(なし)				
			○	実 施 (概ね目標通り)				
			×	(なし) (目標を大きく下回る) 未 実 施				
	進捗確認	実績〔－〕	R7	R8	R9	R10	R11	
			実施					
		進捗度 判定	R7	R8	R9	R10	R11	
○								

事業管理 No.2	指標概要	指標No.	(1) -2 水道水の安全性等の広報					
		指標〔単位〕	水質検査結果等の公開 [ー]					
		指標算出方法	指標A 〔ー〕 = 水質検査結果等の公開の実施の有無					
		指標種別	4.実施有無形式					
	事前整理 事項	目標 〔ー〕	R7 実施	R8 実施	R9 実施	R10 実施	R11 実施	
		進捗度 判定基準	指標に設定した行為等に対し、実施したかどうかで、以下の通り判定を行う。					
				(なし)				
			○	実 施 (概ね目標通り)				
				(なし)				
		×	未 実 施 (目標を大きく下回る)					
	進捗確認	実績 〔ー〕	R7 実施	R8	R9	R10	R11	
		進捗度 判定	R7 ○	R8	R9	R10	R11	

施策の基本的方向性	2 災害に強い施設・システムづくりの推進
施策	1 管路更新のペースアップ【重点施策】
とりまとめ	計画課
関連事業概要 (中期経営計画より)	(1) 管路更新のペースアップ [管路整備課・各配水課]
	●拡張期に集中的に整備してきた管路については、順次更新時期を迎えることから、老朽化に伴う漏水事故の発生リスクや大規模地震等の災害発生時における被害を抑えるために、路線の重要度を考慮しながら、耐震性に優れた管種を使用して老朽管路の更新を行います。 ●管路更新にあたっては、想定使用年数を超える管路を極力抑制するため、万一破損した場合の影響範囲が大きいと考えられる配水本管等の重要な基幹管路も含め、年間40kmの更新を目指し、段階的に管路更新のペースアップを図ります。 ●管路更新のペースアップを着実に推進するためには、受注者・発注者双方の負担軽減に取り組む必要があることから、デジタル技術の更なる活用等による作業の効率化や簡素化に向けた検討を進めます。 ●社会全体としてのマンパワー不足が懸念されている中、前期計画期間においては発注工事における入札不調の増加がみられており、水道事業においても人材の不足が課題になりつつあると考えられます。着実に管路更新ペースアップを図るため、関係団体との意見交換を行いながら、業界全体のマンパワーの状況を把握し、工事の同時稼働件数の平準化や適切な工事発注ロットについても検討を進めます。

事業進捗度集計 (次ページ以降より)	指標No.	指 標	年度別 事業進捗度の判定結果【4段階判定（スコア）】				
			R7	R8	R9	R10	R11
(1) -1	管路更新延長		○ (2)				

施策進捗度	進捗度	下限	～	目標	～	上限	年度別 施策進捗度の判定結果【4段階判定（スコア計）】				
	判定域	C	～	A	～	S	R7	R8	R9	R10	R11
	スコア計	0	～	2	～	3	A (2)				
	施策進捗度 判定基準						上記 () 内に示す「スコア計」の値をXとして				
		S	2	<	X	≦	3				(目標を上回った)
		A	2	≦	X	≦	2				(概ね目標通り)
		B	1	≦	X	<	2				(目標を下回った)
		C	0	≦	X	<	1				(目標を大きく下回った)

R7年度 施策評価 まとめ	R7年度までのスコア計推移		R7年度 施策進捗度	
			A / S ~ C	
	R7年度「施策2-1」総評			
全項目で目標を達成し、施策評価は「A判定」となった。 (1) -1: 【進捗度 ○】 管路更新について令和7年度は目標値の93.6%を達成した。引き続き、管路工事における同時稼働件数の平準化の取組を継続し、業界団体とも意見交換を行いながら管路更新のペースアップを推進していく。				

事業管理
No.1

指標概要	指標No.	(1) -1	管路更新のベースアップ					
		指標 [単位]	管路更新延長 [km/年]					
		指標算出方法	指標A [km/年] = 当該年度に完成（過年度着工の工事を含む）した管路更新工事の総延長					
		指標種別	1.数値形式(変動)					
	事前整理事項	目標値 A' [km/年]	R7	R8	R9	R10	R11	
			36.0	36.0	38.0	38.0	40.0	
		進捗度 判定基準	達成度X = 実績値A / 目標値A' として、以下の通り判定を行う。					
			◎	110.0 ≦ X	(目標を上回る)			
			○	90.0 ≦ X < 110.0	(概ね目標通り)			
			△	70.0 ≦ X < 90.0	(目標を下回る)			
	×	0.0 ≦ X < 70.0	(目標を大きく下回る)					
	進捗確認	実績入力	R7	R8	R9	R10	R11	
			実績値 A [km/年]	33.7				
			達成度 X %	93.6				
		目標値および実績値の推移						
-- 目標値								
● 実績値								
進捗度 判定	R7	R8	R9	R10	R11			
	○							

施策の基本的方向性	2 災害に強い施設・システムづくりの推進	
施策	2 施設・管路の計画的な耐震化	
とりまとめ	計画課	
関連事業概要 (中期経営計画より)	(1) 施設の計画的な耐震化 [施設課]	●大規模地震等の災害発生時において破損等が発生した場合に影響が大きくなると考えられる施設について、被害を抑え、お客さまへ安定的に水道水を供給するため、計画的に以下の配水所等の耐震化や更新を進めます。 ・福岡取水場 耐震化 ・朴沢調整池 耐震化 ・松陵配水所 耐震化 ・青葉山配水所 更新 ・御堂平配水池 増設
	(2) 重要施設への管路の耐震化 [管路整備課・各配水課]	●大規模地震等の災害発生時に災害医療を担う病院、防災拠点となる公共施設、指定避難所等の重要施設に接続する管路について、災害発生時における断水被害の軽減と早期復旧を目指して、関係部局と連携し、上下水道一体での耐震化も図りながら、管路の耐震化を計画的に推進していきます。

事業進捗度集計 (次ページ以降より)	指標No.	指 標	年度別 事業進捗度の判定結果【4段階判定（スコア）】				
			R7	R8	R9	R10	R11
	(1) -1	施設の耐震化についての進捗	△ (1)				
	(2) -1	重要施設への管路耐震化実施	○ (2)				

施策進捗度	進捗度	下限	～	目標	～	上限	年度別 施策進捗度の判定結果【4段階判定（スコア計）】				
	判定域	C	～	A	～	S	R7	R8	R9	R10	R11
	スコア計	0	～	4	～	6	A (3)				
	施策進捗度 判定基準						上記 () 内に示す「スコア計」の値をXとして				
							S	5 < X ≤ 6	(目標を上回った)		
							A	3 ≤ X ≤ 5	(概ね目標通り)		
							B	1 ≤ X < 3	(目標を下回った)		
							C	0 ≤ X < 1	(目標を大きく下回った)		

R7年度 施策評価 まとめ	R7年度までのスコア計推移					R7年度 施策進捗度																									
	<table border="1"><caption>R7年度までのスコア計推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績スコア</th><th>A判定 上限</th><th>A判定 下限</th></tr></thead><tbody><tr><td>R7</td><td>3</td><td>5</td><td>3</td></tr><tr><td>R8</td><td></td><td>5</td><td>3</td></tr><tr><td>R9</td><td></td><td>5</td><td>3</td></tr><tr><td>R10</td><td></td><td>5</td><td>3</td></tr><tr><td>R11</td><td></td><td>5</td><td>3</td></tr></tbody></table>					年度	実績スコア	A判定 上限	A判定 下限	R7	3	5	3	R8		5	3	R9		5	3	R10		5	3	R11		5	3	A / S ~ C	
	年度	実績スコア	A判定 上限	A判定 下限																											
	R7	3	5	3																											
	R8		5	3																											
R9		5	3																												
R10		5	3																												
R11		5	3																												
R7年度「施策2-2」総評																															
一部事業で進捗に遅れが生じたものの、施策の評価としては「A判定」となった。																															
(1) -1:【進捗度 △】 福岡取水場、朴沢調整池は当初の計画通り耐震化工事が完了したものの、松陵配水所、青葉山配水所、御堂平配水池にて、追加工事の発生等の理由により、工事の進捗に遅れが生じた。																															
(2) -1:【進捗度 ○】 令和7年度に発注予定であった重要施設への管路耐震化工事2件について契約を行うことができた。																															

事業管理 No.1	指標概要	指標No.		(1) -1 施設の計画的な耐震化				
		指標 [単位]		施設の耐震化についての進捗 [-]				
		指標算出方法		指標A [－]＝各年度に予定する取組が、実施されたかを定性的に評価する。				
		指標種別		5.定性評価形式				
	事前整理 事項	目標 [－]		R7	R8	R9	R10	R11
				施設の耐震化等を実施				
		R7 年度の主な予定取組		■ 福岡取水場・朴沢調整池、松陵配水所（施策4-2 共通） 耐震化工事の完了 ■ 青葉山配水所 更新工事の2年目実施（施策4-2 共通） ■ 御堂平配水池 増設工事の3年目実施				
		進捗度 判定基準		所管部署の定性的な判断に基づき、以下の通り判定を行う。				
				◎	予定を上回り取り組むことができた。（次年度以降の作業負担軽減に寄与した。）			
				○	概ね予定通り取り組むことができた。			
				△	予定を下回る取り組みとなった。（次年度以降に繰り越す作業が発生した。）			
	×	予定していた取り組みに未着手。						
	進捗確認	R7 年度実施の主な取組		■ 福岡取水場・朴沢調整池は耐震化が完了、松陵配水所の耐震化は完了せずR8年度完了の予定 ■ 青葉山配水所の更新は、追加工事の実施等により工事の進捗に遅れが発生 ■ 御堂平配水池の増設は、追加工事の実施等により工事の進捗に遅れが発生				
		R7 年度の進捗度		△				
		R7～R11年度 で予定される 取組との比較	進捗状況	遅れが見られる				
			予定の見直し	不要				
			見直した内容	－				
補足 (必要に応じ記載)			R11年度までに各施設耐震化の完了を目指す。					
進捗度 判定		R7	R8	R9	R10	R11		
		△						

事業管理
No.2

	指標概要	指標No.		(2) -1		重要施設への管路の耐震化				
		指標 [単位]		重要施設への管路耐震化実施 [-]						
		指標算出方法		指標A [-] = 各年度に予定する取組が、実施されたかを定性的に評価する。						
		指標種別		5.定性評価形式						
	事前整理 事項	目標 [-]		R7	R8	R9	R10	R11		
				管路の耐震化を実施						
		R7 年度の主な予定取組		■ 河原町病院への管路耐震化を発注 ■ 太白障がい者福祉センターへの管路耐震化（4/4工区）を発注						
		進捗度 判定基準		所管部署の定性的な判断に基づき、以下の通り判定を行う。						
				◎	予定を上回り取り組むことができた。（次年度以降の作業負担軽減に寄与した。）					
				○	概ね予定通り取り組むことができた。					
				△	予定を下回る取り組みとなった。（次年度以降に繰り越す作業が発生した。）					
			×	予定していた取り組みに未着手。						
	進捗確認	R7 年度実施の主な取組		■ 河原町病院への管路耐震化工事を発注 ■ 太白障がい者福祉センターへの管路耐震化工事（4/4工区）を発注・完了						
		R7 年度の進捗度		○						
		R7～R11年度 で予定される 取組との比較	進捗状況	概ね順調に進行						
			予定の見直し	不要						
			見直した内容	-						
			補足 (必要に応じ記載)	河原町病院（R7-R8工事）は工事を契約し、予定通り工事が進捗している。 太白障がい者福祉センター（4/4工区・R7工事）は工事を契約し、完成した。						
進捗度 判定		R7	R8	R9	R10	R11				
		○								

施策の基本的方向性	3 被災時にも給水が継続できる体制の強化
施策	1 災害時給水栓による応急給水体制の強化
とりまとめ	水道危機管理室
関連事業概要 (中期経営計画より)	(1) 災害時給水栓の活用促進 [水道危機管理室] ●災害時給水栓については、市内の指定避難所（195か所）への設置が概ね完了しました。災害時に地域の皆さまが自ら給水所を開設し、円滑な給水が可能となるよう、引き続き、防災訓練等での積極的な活用、説明会や講習会、Web動画等の活用により操作方法の周知を図るとともに、災害時給水栓の存在を地域の皆さまにより広く知っていただくため、広報紙、ホームページ、SNS等による継続的な広報に取り組みます。

事業進捗度集計 (次ページ以降より)	指標No.	指 標	年度別 事業進捗度の判定結果【4段階判定（スコア）】				
			R7	R8	R9	R10	R11
	(1) -1	災害時給水栓訓練実施箇所数	◎ (3)				

施策進捗度	進捗度	下限	～	目標	～	上限	年度別 施策進捗度の判定結果【4段階判定（スコア計）】				
	判定域	C	～	A	～	S	R7	R8	R9	R10	R11
	スコア計	0	～	2	～	3	S (3)				
	施策進捗度 判定基準						上記 () 内に示す「スコア計」の値をXとして				
							S	2 < X ≤ 3	(目標を上回った)		
							A	2 ≤ X ≤ 2	(概ね目標通り)		
							B	1 ≤ X < 2	(目標を下回った)		
							C	0 ≤ X < 1	(目標を大きく下回った)		

R7年度 施策評価 まとめ	R7年度までのスコア計推移		R7年度 施策進捗度					
	■ 実績スコア - - A判定 上限 - - A判定 下限		S / S ~ C					
	R7年度 「施策3-1」 総評							
	全項目で目標を達成し、施策評価は「S判定」となった。 (1) -1: 【進捗度◎】 令和7年度は65か所（68件）での訓練・説明会を実施した。 (内訳) <table><tr><td>地域が主催する訓練への職員派遣（災害時給水栓）</td><td>6件</td></tr><tr><td>地域が主催する訓練へのホース貸出（災害時給水栓）</td><td>51件</td></tr><tr><td>水道局が主催する地域説明会（災害時給水栓）</td><td>11件</td></tr></table>			地域が主催する訓練への職員派遣（災害時給水栓）	6件	地域が主催する訓練へのホース貸出（災害時給水栓）	51件	水道局が主催する地域説明会（災害時給水栓）
	地域が主催する訓練への職員派遣（災害時給水栓）	6件						
地域が主催する訓練へのホース貸出（災害時給水栓）	51件							
水道局が主催する地域説明会（災害時給水栓）	11件							

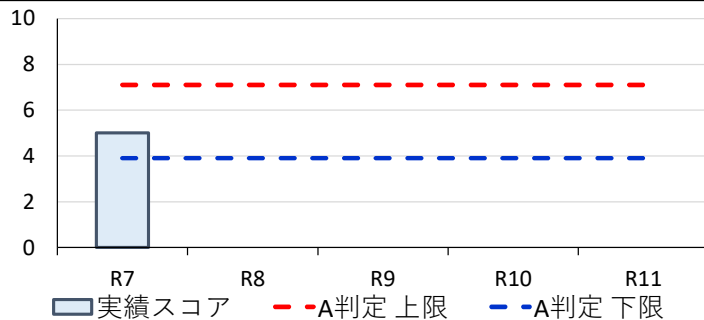
事業管理
No.1

指標概要	指標No.	(1) -1 災害時給水栓の活用促進					
	指標 [単位]	災害時給水栓訓練実施箇所数 [か所]					
	指標算出方法	指標A [か所] = R7年度以降に訓練・説明会を実施した災害時給水栓の箇所数 (累積値)					
	指標種別	1.数値形式(変動)					
事前整理 事項	目標値 A' [か所]	R7	R8	R9	R10	R11	
		50	75	100	125	156	
	進捗度 判定基準	達成度X = 実績値A / 目標値A' として、以下の通り判定を行う。					
		◎	110.0	≦ X	(目標を上回る)		
		○	90.0	≦ X < 110.0	(概ね目標通り)		
		△	70.0	≦ X < 90.0	(目標を下回る)		
		×	0.0	≦ X < 70.0	(目標を大きく下回る)		
進捗確認	実績入力	R7	R8	R9	R10	R11	
	実績値 A [か所]	65					
	達成度 X □	130.0					
	目標値および 実績値の推移						
		-- 目標値 ● 実績値					
進捗度 判定	R7	R8	R9	R10	R11		
	◎						

施策の基本的方向性	3 被災時にも給水が継続できる体制の強化
施策	2 様々な取組を通じた早期応急復旧体制の強化
とりまとめ	水道危機管理室
関連事業概要 (中期経営計画より)	(1) 危機管理体制の強化 [水道危機管理室] ●大規模災害発生時に迅速で確実な対応ができるよう、危機管理マニュアルや業務継続計画（BCP）に基づき、事前対策の推進と、毎年度の訓練実施により、職員及び組織の危機管理能力の向上と定着を図ります。 ●また、危機管理マニュアル等について、より実効性を高めるために、過去の災害対応の教訓や訓練の実施状況等を踏まえた課題整理を行い、継続的な検証と見直しを行います。
	(2) 計画的な応急復旧資材・保管場所の確保 [配水管理課] ●災害や事故等で水道施設に被害が発生した場合に備え、入手に時間を要する応急復旧資材を計画的に確保・備蓄し、早期に復旧するための資材管理体制の充実を図ります。 ●また、災害発生時においても必要な応急復旧資材を、倉庫から必要な場所に確実に運搬できるよう、最新のハザードマップを踏まえ、新たな保管場所の整備に向けて検討を進めます。
	(3) 水道施設の長期停電対策の充実 [南配水課・北配水課] ●東日本大震災では、想定を超える長期停電が発生し、また、自家発電設備燃料の確保も困難であったことから、大規模災害等による長期停電に備えるため、引き続き、主要配水所・ポンプ場の非常用自家発電設備の定期的な更新等を進めていきます。

事業進捗度集計 (次ページ以降より)	指標No.	指 標	年度別 事業進捗度の判定結果【4段階判定（スコア）】				
			R7	R8	R9	R10	R11
	(1) -1	大規模災害に備えた局内訓練の実施	○ (2)				
	(2) -1	応急復旧資材ストック率	○ (2)				
	(3) -1	非常用自家発電設備更新件数	△ (1)				

施策進捗度	進捗度	下限	～	目標	～	上限	年度別 施策進捗度の判定結果【4段階判定（スコア計）】				
	判定域	C	～	A	～	S	R7	R8	R9	R10	R11
	スコア計	0	～	6	～	8	A (5)				
	施策進捗度 判定基準						上記 () 内に示す「スコア計」の値をXとして				
							S	7 < X ≤ 8	(目標を上回った)		
							A	4 ≤ X ≤ 7	(概ね目標通り)		
							B	2 ≤ X < 4	(目標を下回った)		
							C	0 ≤ X < 2	(目標を大きく下回った)		

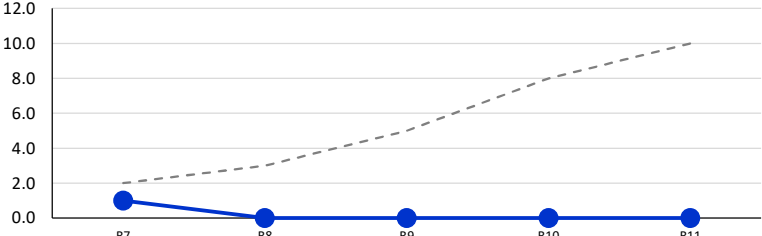
R7年度 施策評価 まとめ	R7年度までのスコア計推移		R7年度 施策進捗度	
			A S ~ C	
	R7年度「施策3-2」総評			
一部事業で進捗に遅れが生じたものの、施策の評価としては「A判定」となった。 (1) -1：【進捗度 ○】 定期的な衛星電話訓練を行ったほか、11月に5都市合同防災訓練（局内災害対応訓練も兼ねている）を実施した。 (2) -1：【進捗度 ○】 今年度調達した資材は、令和7年9月に契約を締結した後、1月には所定の保管場所に納入し、目標となるストック対象資機材種112のうち、令和7年度末時点で108の整備が完了したため、ストック率は96.4%となった。 (3) -1：【進捗度 △】 令和7年度完成を予定していた2基の非常用自家発電設備のうち、芋峠配水所は更新工事が完了したが、赤坂配水所は製作物の部品が想定していた納期に間に合わず、完成が翌年度にずれ込む状況となった。				

事業管理 No.1	指標概要	指標No.	(1) -1 危機管理体制の強化				
		指標 [単位]	大規模災害に備えた局内訓練の実施 [-]				
		指標算出方法	指標A [-] = 大規模災害に備えた局内訓練の実施有無				
		指標種別	4.実施有無形式				
	事前整理 事項	目標 [-]	R7	R8	R9	R10	R11
			実施	実施	実施	実施	実施
		進捗度 判定基準	指標に設定した行為等に対し、実施したかどうかで、以下の通り判定を行う。				
			(なし)				
			(概ね目標通り)				
進捗確認	実績 [-]	進捗度 判定	R7	R8	R9	R10	R11
			実施				
			R7	R8	R9	R10	R11
			○				

事業管理
No.2

指標概要	指標No.	(2) -1	計画的な応急復旧資材・保管場所の確保					
		指標 [単位]	応急復旧資材ストック率 [%]					
		指標算出方法	指標A [%] = (在庫確保資材種 / ストック対象資材種) × 100					
		指標種別	1.数値形式(変動)					
	事前整理事項	目標値 A' [-]	R7	R8	R9	R10	R11	
			90.0	93.0	95.0	98.0	100.0	
		進捗度 判定基準	達成度X = 実績値A / 目標値A' として、以下の通り判定を行う。					
			◎	110.0	≦	X	(目標を上回る)	
			○	90.0	≦	X < 110.0	(概ね目標通り)	
			△	70.0	≦	X < 90.0	(目標を下回る)	
	×	0.0	≦	X < 70.0	(目標を大きく下回る)			
	進捗確認	実績入力	R7	R8	R9	R10	R11	
		実績値 A [%]	96.4					
		達成度 X □	107.1					
		目標値および実績値の推移						
--- 目標値 ●— 実績値								
進捗度 判定	R7	R8	R9	R10	R11			
	○							

事業管理
No.3

	指標概要	指標No.	(3) -1 水道施設の長期停電対策の充実					
		指標 [単位]	非常用自家発電設備更新件数 [件]					
		指標算出方法	指標A [件] = 非常用自家発電設備の合計更新実施件数					
		指標種別	1.数値形式(変動)					
	事前整理 事項	目標値 A' [-]	R7	R8	R9	R10	R11	
			2	3	5	8	10	
		進捗度 判定基準	更新率X (%) = (実績値A / 目標値A') × 100 として、以下の通り判定を行う。					
			◎	110 ≧ X	(目標を上回る)			
			○	80.0 ≧ X < 110.0	(概ね目標通り)			
			△	50.0 ≧ X < 80.0	(目標を下回る)			
			×	0.0 ≧ X < 50.0	(目標を大きく下回る)			
進捗確認	実績入力	R7	R8	R9	R10	R11		
	実績値 A [件]	1						
	目標値および 実績値の推移	 --- 目標値 ● 実績値						
		進捗度 判定		R7	R8	R9	R10	R11
				△				

施策の基本的方向性	4 水需要に合わせた施設の再構築
施策	1 浄水場の再構築【重点施策】
とりまとめ	計画課
関連事業概要 (中期経営計画より)	(1) 共同浄水場の整備推進 [計画課] ●老朽化が進行し耐震性にも課題のある国見浄水場について、長期的なトータルコストの削減や非常時のバックアップ機能を強化するため、同様に耐震性に課題のある中原浄水場や、小規模浄水場である熊ヶ根浄水場と統合して更新するとともに、国見浄水場と導水施設を共同利用している塩竈市の梅の宮浄水場も同様に施設が老朽化していることから、コストや維持管理、リスク管理の負担を軽減するため、令和4年11月に策定した「仙台市・塩竈市共同浄水場整備計画」に基づき、塩竈市と共同して新たな浄水場の整備を進めています。 ●共同浄水場の整備にあたっては、多面的な事業手法の検討が必要となることから、引き続き基本設計や官民連携導入可能性調査を行い、PFIやDBO等の手法について検討し、整備を推進します。
	(2) 茂庭浄水場の長寿命化 [茂庭浄水課] ●茂庭浄水場については、耐震性に問題はないものの、稼働開始から約50年以上が経過し、施設の老朽化が進みつつあります。共同浄水場の整備を進めている中、水道事業全体にかかる建設投資の平準化を考慮の上、茂庭浄水場については今後40～50年間安定した施設の運転が可能な長寿命化を図ることとし、設備の更新や劣化補修等を適切に進めます。
	(3) 小規模浄水場の段階的な統廃合 [施設課] ●熊ヶ根浄水場については、維持管理の効率化や更新費用の削減の観点から廃止する方針としており、これまでに、中原浄水場からの送水施設の整備や浄水場の試験停止など、廃止に向けた取組を進めてきました。引き続き必要な施設整備や準備等を進め、熊ヶ根浄水場を令和10年度末までに廃止します。

事業進捗度集計 (次ページ以降より)	指標No.	指 標	年度別 事業進捗度の判定結果【4段階判定（スコア）】				
			R7	R8	R9	R10	R11
	(1) -1	共同浄水場整備	△ (1)				
	(2) -1	茂庭浄水場長寿命化についての進捗	○ (2)				
	(3) -1	熊ヶ根浄水場廃止についての進捗	○ (2)				

施策進捗度	進捗度	下限	～	目標	～	上限	年度別 施策進捗度の判定結果【4段階判定（スコア計）】				
							R7	R8	R9	R10	R11
	判定域	C	～	A	～	S	A (5)				
	スコア計	0	～	6	～	9					
	施策進捗度 判定基準						上記 () 内に示す「スコア計」の値をXとして				
							S	7 < X ≤ 9	(目標を上回った)		
							A	4 ≤ X ≤ 7	(概ね目標通り)		
							B	2 ≤ X < 4	(目標を下回った)		
							C	0 ≤ X < 2	(目標を大きく下回った)		

R7年度 施策評価 まとめ	R7年度までのスコア計推移					R7年度 施策進捗度			
	Legend: 実績スコア - - - A判定 上限 - - - A判定 下限					A / S ~ C			
	R7年度「施策4-1」総評								
	一部事業で進捗に遅れが生じたものの、施策の評価としては「A判定」となった。								

(1) -1：【進捗度 △】

当初の計画に基づき、官民連携導入可能性調査及び既存浄水場施設撤去詳細設計を実施し、完了した。一方、共同送水管及び国見系導水管新設設計については、送水管のルート選定に必要な地権者交渉及び測量等に時間を要したため、次年度へ持ち越しとなった。

(2) -1：【進捗度 ○】

当初の計画に基づき順調に進捗し、目標達成に至った。

(3) -1：【進捗度 ○】

当初の計画に基づき順調に進捗し、目標達成に至った。

事業管理 No.1	指標概要	指標No.	(1) -1 共同浄水場の整備推進					
		指標 [単位]	共同浄水場整備 [-]					
		指標算出方法	指標A [－] = 年度別の予定取組の実施状況に基づく、所管部署の定性的な評価。					
		指標種別	5.定性評価形式					
	事前整理 事項	目標 [－]	R7	R8	R9	R10	R11	
			R7年度までに事業手法の検討を完了し、その状況を踏まえて整備を推進					
		R7 年度の主な予定取組	■ 官民連携導入可能性調査					
			■ 既存浄水場施設撤去詳細設計					
		進捗度 判定基準	■ 共同送水管及び国見系導水管新設設計					
			所管部署の定性的な判断に基づき、以下の通り判定を行う。					
			◎	予定を上回り取り組むことができた。 (次年度以降の作業負担軽減に寄与した。)				
			○	概ね予定通り取り組むことができた。				
	進捗確認	R7 年度実施の主な取組	△					
			△					
			△					
		R7 年度の進捗度	△					
			R7～R11年度 で予定される 取組との比較	進捗状況	遅れが見られる			
予定の見直し				不要				
見直した内容				－				
補足 (必要に応じ記載)				R18年度までに共同浄水場の整備を完了できるよう適宜調整を進める。				
進捗度 判定	R7	R8	R9	R10	R11			
	△							

事業管理 No.2	指標概要	指標No.	(2) -1 茂庭浄水場の長寿命化				
		指標 [単位]	茂庭浄水場長寿命化についての進捗 [-]				
		指標算出方法	指標A [－] = 年度別の予定取組の実施状況に基づく、所管部署の定性的な評価。				
		指標種別	5.定性評価形式				
	事前整理 事項	目標 [－]	R7	R8	R9	R10	R11
			ろ過池洗浄用高置水槽 新設				
		R7 年度の主な予定取組	■ ろ過池洗浄用高置水槽新設工事着手				
		進捗度 判定基準	所管部署の定性的な判断に基づき、以下の通り判定を行う。				
			◎	予定を上回り取り組むことができた。 (次年度以降の作業負担軽減に寄与した。)			
		○	概ね予定通り取り組むことができた。				
		△	予定を下回る取り組みとなった。 (次年度以降に繰り越す作業が発生した。)				
		×	予定していた取り組みに未着手。				
	進捗確認	R7 年度実施の主な取組	■ ろ過池洗浄用高置水槽新設工事着手				
		R7 年度の進捗度	○				
R7～R11年度 で予定される 取組との比較		進捗状況	概ね順調に進行				
		予定の見直し	不要				
		見直した内容	－				
	補足 (必要に応じ記載)	－					
進捗度 判定		R7	R8	R9	R10	R11	
		○					

事業管理
No.3

	指標概要	指標No.		(3) -1 小規模浄水場の段階的な統廃合					
		指標 [単位]		熊ヶ根浄水場廃止についての進捗 [-]					
		指標算出方法		指標A [-] = 年度別の予定取組の実施状況に基づく、所管部署の定性的な評価。					
		指標種別		5.定性評価形式					
	事前整理 事項	目標 [-]		R7	R8	R9	R10	R11	
				R10年度末までに廃止					
		R7 年度の主な予定取組		■ 浄水機能を停止し、配水施設として運用するための電気設備更新実施設計の完了					
		進捗度 判定基準		所管部署の定性的な判断に基づき、以下の通り判定を行う。					
				◎	予定を上回り取り組むことができた。 (次年度以降の作業負担軽減に寄与した。)				
				○	概ね予定通り取り組むことができた。				
				△	予定を下回る取り組みとなった。 (次年度以降に繰り越す作業が発生した。)				
				×	予定していた取り組みに未着手。				
	進捗確認	R7 年度実施の主な取組		■ 浄水機能を停止し、配水施設として運用するための電気設備更新実施設計の完了					
		R7 年度の進捗度		○					
		R7～R11年度 で予定される 取組との比較	進捗状況	概ね順調に進行					
			予定の見直し	不要					
			見直した内容	—					
			補足 (必要に応じ記載)	—					
	進捗度 判定			R7	R8	R9	R10	R11	
			○						

施策の基本的方向性	4 水需要に合わせた施設の再構築	
施策	2 配水所等の再構築	
とりまとめ	計画課	
関連事業概要 (中期経営計画より)	(1) 配水所等の統廃合	[計画課・施設課]
	●将来も存続する配水所等について、施設規模の適正化に向けて、計画的に以下の施設の更新や耐震化を行いながら、順次統廃合を進めます。	
	(2) 廃止施設の計画的撤去	[財務課]
	●現在休止・廃止している施設や水道施設の再構築に伴い廃止する施設等について、優先度に応じて計画的に撤去を進めます。	

事業進捗度集計 (次ページ以降より)	指標No.	指 標	年度別 事業進捗度の判定結果【4段階判定（スコア）】				
			R7	R8	R9	R10	R11
	(1) -1	統廃合に向けた施設整備	△ (1)				
	(2) -1	加茂配水所撤去	△ (1)				
	(2) -2	その他廃止施設の撤去についての検討	○ (2)				

施策進捗度	進捗度	下限	～	目標	～	上限	年度別 施策進捗度の判定結果【4段階判定（スコア計）】				
							R7	R8	R9	R10	R11
	判定域	C	～	A	～	S	B (4)				
	スコア計	0	～	6	～	8					
	施策進捗度 判定基準						上記 () 内に示す「スコア計」の値をXとして				
							S	7 < X ≤ 8	(目標を上回った)		
							A	5 ≤ X ≤ 7	(概ね目標通り)		
							B	2 ≤ X < 5	(目標を下回った)		
							C	0 ≤ X < 2	(目標を大きく下回った)		

R7年度 施策評価 まとめ	R7年度までのスコア計推移					R7年度 施策進捗度			
						B / S ~ C			
	R7年度「施策4-2」総評								
	一部事業で進捗に遅れが生じ、施策の評価としては「B判定」となった。 (1) -1：【進捗度 △】 福岡配水池、松陵配水所および青葉山配水所において、追加工事の発生等の理由により、当初計画から進捗に遅れが生じた。 (2) -1：【進捗度 △】 跡地の需要見通しおよび撤去範囲の検討に時間を要したため、年度内に方針決定および令和8年度予算要求には至らなかった。 (2) -2：【進捗度 ○】 旧富田浄水場の解体工事に係る設計の入札が不調となり、令和7年度中の発注が困難となったため、改めて令和8年度の発注を予定している。 また、黒松1号給水塔跡地の撤去にかかる検討をしており、撤去方法について市長部局と協議を行っている状況である。								

事業管理 No.1	指標概要	指標No.	(1) -1 配水所等の統廃合					
		指標 [単位]	統廃合に向けた施設整備 [-]					
		指標算出方法	指標A [－] = 年度別の予定取組の実施状況に基づく、所管部署の定性的な評価。					
		指標種別	5.定性評価形式					
	事前整理 事項	目標 [－]	R7	R8	R9	R10	R11	
			統廃合に向けた施設整備を実施					
		R7 年度の主な予定取組	■ 松陵配水所 耐震化工事の完了 (施策2-2 共通) ■ 福岡浄水場 場内配水池築造工事の完了 ■ 青葉山配水所 更新工事の2年目実施 (施策2-2 共通)					
		進捗度 判定基準	所管部署の定性的な判断に基づき、以下の通り判定を行う。					
			◎	予定を上回り取り組むことができた。 (次年度以降の作業負担軽減に寄与した。)				
			○	概ね予定通り取り組むことができた。				
			△	予定を下回る取り組みとなった。 (次年度以降に繰り越す作業が発生した。)				
		×	予定していた取り組みに未着手。					
	進捗確認	R7 年度実施の主な取組	■ 松陵配水所の耐震化は完了せず、R8年度完了の予定 ■ 福岡浄水場場内配水池の築造は完了せず、R8年度完了の予定 ■ 青葉山配水所の更新は、追加工事の実施等により工事の進捗に遅れが発生					
		R7 年度の進捗度	△					
		R7～R11年度 で予定される 取組との比較	進捗状況	遅れが見られる				
			予定の見直し	不要				
			見直した内容	－				
補足 (必要に応じ記載)			次年度以降も、統廃合に向けた施設整備に計画的に取り組んでいく。					
進捗度 判定			R7	R8	R9	R10	R11	
		△						

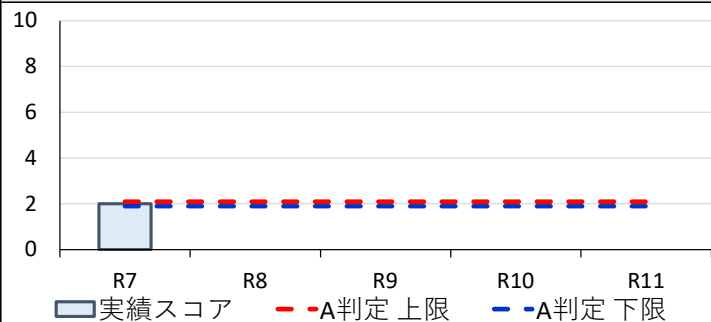
事業管理 No.2	指標概要	指標No.		(2)-1 廃止施設の計画的撤去				
		指標 [単位]		加茂配水所撤去 [-]				
		指標算出方法		指標A [－]＝年度別の予定取組の実施状況に基づく、所管部署の定性的な評価。				
		指標種別		5.定性評価形式				
	事前整理 事項	目標 [－]		R7	R8	R9	R10	R11
				加茂配水所 撤去				
		R7 年度の主な予定取組		■ 跡地利用の需要見直し検討 ■ 撤去の範囲等に関する方針決定 ■ 令和8年度予算要求				
		進捗度 判定基準		所管部署の定性的な判断に基づき、以下の通り判定を行う。				
				◎	予定を上回り取り組むことができた。 (次年度以降の作業負担軽減に寄与した。)			
				○	概ね予定通り取り組むことができた。			
				△	予定を下回る取り組みとなった。 (次年度以降に繰り越す作業が発生した。)			
				×	予定していた取り組みに未着手。			
	進捗確認	R7 年度実施の主な取組		■ 跡地利用の需要見直し検討及び跡地利用の観点から見た解体撤去範囲の比較検討を行った。 ■ 解体撤去後の跡地需要の観点から、複数の解体パターンで比較検討を行ったが、どの対応が適切か結論を得ることはできず、R8年度予算要求に至らなかった。				
		R7 年度の進捗度		△				
		R7～R11年度 で予定される 取組との比較	進捗状況	遅れが見られる				
			予定の見直し	不要				
			見直した内容	－				
補足 (必要に応じ記載)			引き続き方針決定に向けた検討を進め、R11年度までに加茂配水所の撤去を目指す。					
進捗度 判定		R7	R8	R9	R10	R11		
		△						

事業管理 No.3	指標概要	指標No.	(2)-2 廃止施設の計画的撤去					
		指標 [単位]	その他廃止施設の撤去についての検討 [-]					
			指標算出方法	指標A [－] = その他廃止施設の撤去についての検討の実施				
			指標種別	4.実施有無形式				
	事前整理 事項	目標 [－]	R7	R8	R9	R10	R11	
			実施	実施	実施	実施	実施	
		進捗度 判定基準	指標に設定した行為等に対し、実施したかどうかで、以下の通り判定を行う。					
				(なし)				
			○	実 施 (概ね目標通り)				
				(なし)				
			×	未 実 施 (目標を大きく下回る)				
	進捗確認	実績 [－]	R7	R8	R9	R10	R11	
実施								
進捗度 判定		R7	R8	R9	R10	R11		
		○						

施策の基本的方向性	4 水需要に合わせた施設の再構築				
施策	3 管路更新時における管口径等の適正化				
とりまとめ	計画課				
関連事業概要 (中期経営計画より)	(1) 管口径等の適正化 [管路整備課・配水管理課]				
	●お客さまに直接水をお配りする配水管について、災害時等のバックアップ機能や消火栓の機能及び水圧を確保しながら、管口径等の適正化を検討し、可能な限り管路の縮経や、管路の統廃合による管路延長の削減を推進します。				

事業進捗度集計 (次ページ以降より)	指標No.	指 標	年度別 事業進捗度の判定結果【4段階判定（スコア）】				
			R7	R8	R9	R10	R11
	(1) -1	管口径等の適正化	○ (2)				

施策進捗度	進捗度	下限	～	目標	～	上限	年度別 施策進捗度の判定結果【4段階判定（スコア計）】				
	判定域	C	～	A	～	A	R7	R8	R9	R10	R11
	スコア計	0	～	2	～	2	A (2)				
	施策進捗度 判定基準						上記 () 内に示す「スコア計」の値をXとして				
							S	(なし)			
							A	2	≦	X	≦ 2 (概ね目標通り)
							B	1	≦	X	< 2 (目標を下回った)
							C	0	≦	X	< 1 (目標を大きく下回った)

R7年度 施策評価 まとめ	R7年度までのスコア計推移		R7年度 施策進捗度
			A / A ~ C
	R7年度「施策4-3」総評		
	全項目で目標を達成し、施策評価は「A判定」となった。 (1) -1：【進捗度 ○】 予算要求前に局内関係部署による協議を実施し、適正口径についての検討した結果を管路更新工事の発注に反映した。		

事業管理 No.1	指標概要	指標No.	(1) -1 管口径等の適正化					
		指標 [単位]	管口径等の適正化 [-]					
		指標算出方法	指標A [－] = 管口径等の適正化の実施					
		指標種別	4.実施有無形式					
	事前整理 事項	目標 [－]	R7	R8	R9	R10	R11	
			実施	実施	実施	実施	実施	
		進捗度 判定基準	指標に設定した行為等に対し、実施したかどうかで、以下の通り判定を行う。					
				(なし)				
			○	実 施 (概ね目標通り)				
			×	(なし)				
進捗確認	実績 [－]	R7	R8	R9	R10	R11		
		実施						
	進捗度 判定	R7	R8	R9	R10	R11		
		○						